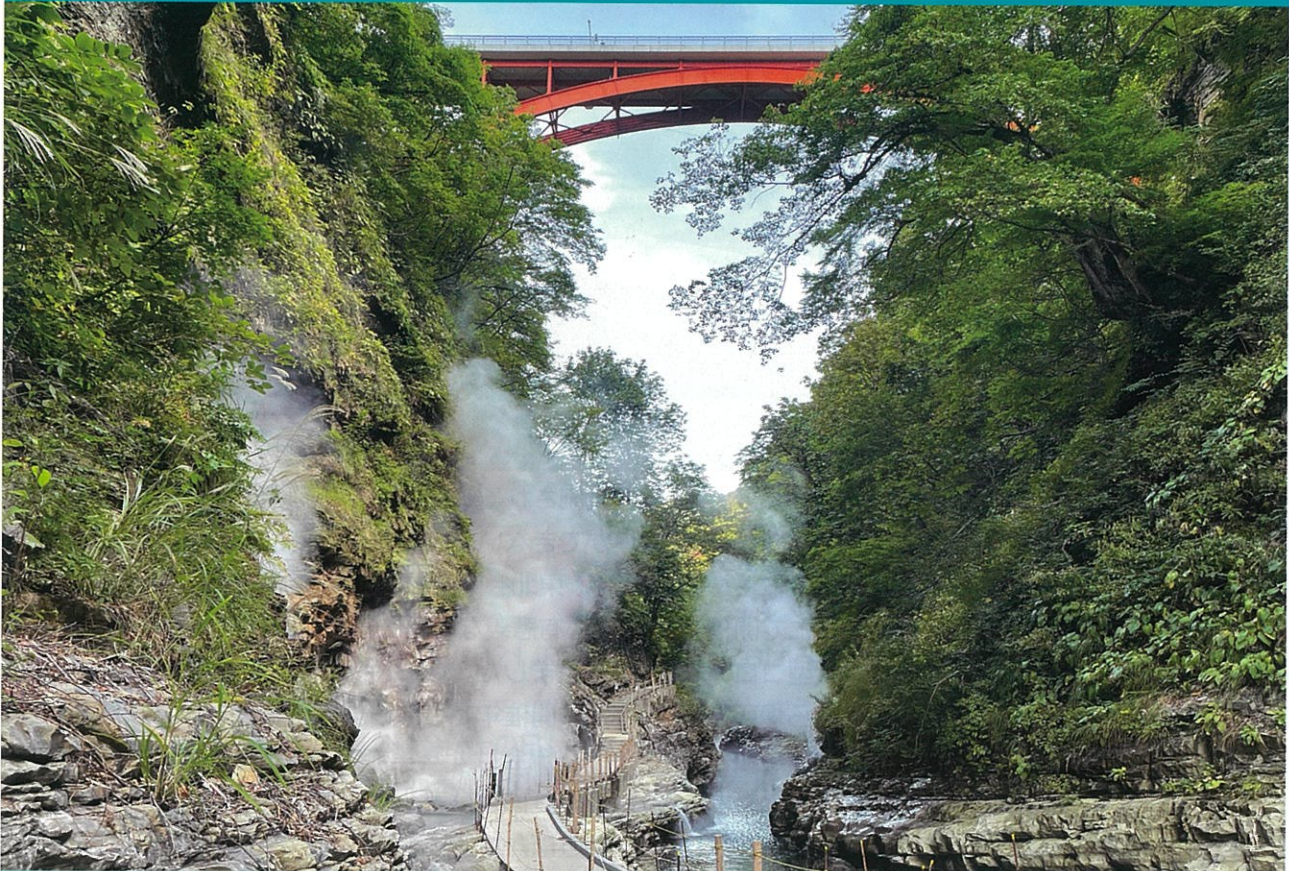


# TOHOKU CPA NEWS

vol.221

2021  
10.25

社会に貢献する公認会計士



撮影場所：小安峡大噴湯（撮影：秋田県会 菅 希代美）

## Contents

- 2 — 第56業年度東北会臨時総会 宮城県会 成田 孝行
- 3 — 第56事業年度東北会「臨時総会」の決議について（報告） 東北会会長 石沢 裕一  
東北会主な活動報告
- 4～5 — 会務報告 東北会会長 石沢 裕一
- 6 — 追悼 - 黒沢繁先生ご逝去を悼む - 宮城県会 柴田 純一  
東北会役員会だより
- 7 — 公認会計士ブランディングプロジェクトの取組状況に関する説明会 総務委員会担当幹事 熊谷 真宏
- 8 — 福島大学寄附講座「財務諸表監査論」集中講義 後進育成委員会委員 高橋 和孝
- 9 — ハロー！会計 in 青森県立青森商業高等学校with伊藤委員長 広報及び業務充実委員会委員長 古川 直磨
- 10 — 委員会活動報告／後進育成委員会 後進育成委員会委員長 伊藤 宏平  
マネージメントサービス研究委員会 マネージメントサービス研究委員会委員長 小林 幹夫  
中小企業施策委員会 中小企業施策委員会委員長 高橋 美穂
- 11 — 監査・保証実務委員会（本部）からの報告 監査・保証実務委員会 連絡委員 岩根 洋介
- 12～13 — 運営委員会の出席報告 (本部) ハロー！会計運営委員会委員 古川 直磨
- 14～15 — J1新人自己紹介
- 16 — 宮城県会ゴルフコンペ 宮城県会 須藤 康英
- 17 — マロが行く～その30～ 広報及び業務充実委員会委員長 古川 直磨  
今後の予定
- 18～19 — 第43回研究大会 研究発表の募集について
- 20 — CPE単位認定変更のお知らせ・東北会事務局異動
- 21 — 各種委員会委員 希望者募集のご案内
- 22 — 東北CPAニュース「年賀」の広告掲載について
- 23 — 会員の異動・訃報
- 24 — 慶事・会員の分布状況・編集後記 広報及び業務充実委員会委員 榊原 征志

## 福島大学寄附講座 「財務諸表監査論」集中講義

後進育成委員会委員 高橋 和孝

令和3年9月6日から令和3年9月10日の5日間、福島県福島市所在の国立大学法人福島大学にて日本公認会計士協会東北会寄附講座による「財務諸表監査論」の集中講義を実施しました。本講義は、現役の公認会計士がどのように企業の財務諸表監査を実施しているかについて学習することにより、福島大学経済経営学類の学生達が財務諸表監査の必要性と重要性を認識し、監査の基本的な考え方を理解して貰うとともに、講義を通して公認会計士の業務に興味を持って貰い、会計専門家を1人でも多く養成することをねらいとして平成25年から毎年実施しています。

本年は22名の学生が「財務諸表監査論」の講義を履修しました。講義当日は、福島県会所属の須賀俊一会員、小山暢会員、鈴木康将会員、郡司拓也会員、高橋和孝会員の5名が、それぞれ1コマ1時間30分の講義を1日に3コマ実施し、5日間の合計で15コマの講義を実施しました。1日目は「公認会計士の業務と監査制度の概要」、2日目は「監査契約の締結、監査計画の立案、リスクアプローチ、リスク

評価手続」、3日目は「内部統制の運用評価手続、実証手続、アサーション、監査技術、試査、監査調書の作成」、4日目は「監査現場での実際の手続きの説明」、5日目は「監査の総括、審査、監査報告書、監査意見の形成、追記情報、継続企業的前提、監査の失敗」をメインテーマに据えつつ、各講師の実体験を踏まえて講義を実施しました。

休み時間に公認会計士試験の概要や合格後の働き方の多様性について個別に質問に来る学生もおり、例年になく関心の高い学生が多かったように感じられました。質問に来た学生の中には公認会計士試験に合格すべく勉強中の学生もおり、実際に公認会計士の話を聞くことでその魅力を再確認し合格へ決意を新たにされたようでした。

今回講義を履修した学生の中から将来公認会計士として活躍する仲間が出ることを願いつつレポートを終了したいと思います。最後に新型コロナウイルス感染拡大に対する様々な対策を講じた上で講義の実現のために尽力頂いた関係者各位にこの場を借りて御礼申し上げます。



## ハロー！会計

### in 青森県立青森商業高等学校 with 伊藤委員長

広報及び業務充実委員会委員長 古川 直磨

今回も青森商業高等学校でハロー！会計を開催させて頂きました。前は、『高校生は公認会計士』をYouTubeで視聴いただいた後、Zoom経由で一方向的に私が喋るという構成でしたが、1人の人間が話し続けるのは面白みに欠けるので、今回は後進育成委員会の伊藤委員長とのトーク形式で実施しました。伊藤委員長にご協力頂いたお陰で、生徒の皆さんの勉強意欲を一層かきたてることができたのではないのでしょうか。

進め方としては、冒頭、『高校生は公認会計士』をYouTubeで視聴いただくという点は同じでしたが、その後のトークテーマを、それぞれの自己紹介、公認会計士はどういう仕事をするか、公認会計士になるまでの道のり、公認会計士の年収(こっそり&ふんわりと)、求められる人材について、として、伊藤委員長と私の実体験に基づいたお話をさせて頂きました。

トークテーマはどれも生徒の皆さんに響くもので、自己紹介で伊藤委員長が「サンドウィッチマンと同窓だよ！」と発言されたことは生徒の皆さんに衝撃とともに、同じ商業高校の出身者なんだ、ということで大いに共感を呼んでいたと感じました。ここでガッチリ生徒の気持ちを掴んだ結果、その後のトークが非常にスムーズでした。

とは言え、今回も接続したPCは、仙台から1台、青森から1台でしたので、生徒の皆さん一人ひとりの表情は見えませんでした。でも、伊藤委員長のおかげで画面の向こうの熱気を感じることができました。やはり商業高校卒業の先輩からの実体験は響くものがあったのでしょうか。伊藤委員長がお話している横顔を見て、私もその横顔に魅せられました(笑)。

今回の特徴としては、入学して間もない1年生が対象だった、ということでしょうか。前は1年間勉強した1年生が対象だったので、事前質問で簿記に関して、例えば勘定科目の基本的な質問などはあ

りませんでした。今回はそういった基本的なものもありました。私もそうでしたが、簿記を勉強し始めた当初は、借方・貸方？左・右？という初歩的なものの理解が進まず、苦勞したものでした。この点、個別の質問に回答することは学校の授業方針に支障があってはいけない、ということで、今回は回答しませんでした。伊藤委員長の高校・大学当時の勉強スタイルのお話には、生徒たちに学習意欲を促進する力があつたと感じます。

児童・生徒の教育環境にIT、具体的にはそれぞれにタブレットなどが行き渡れば、また違ったハロー！会計を実施することもできるかもしれません。その環境の変化に応じて、むしろ先導する形で私たちは会計基礎教育の推進に努めなければならない、と感じた今回のハロー！会計でした。

